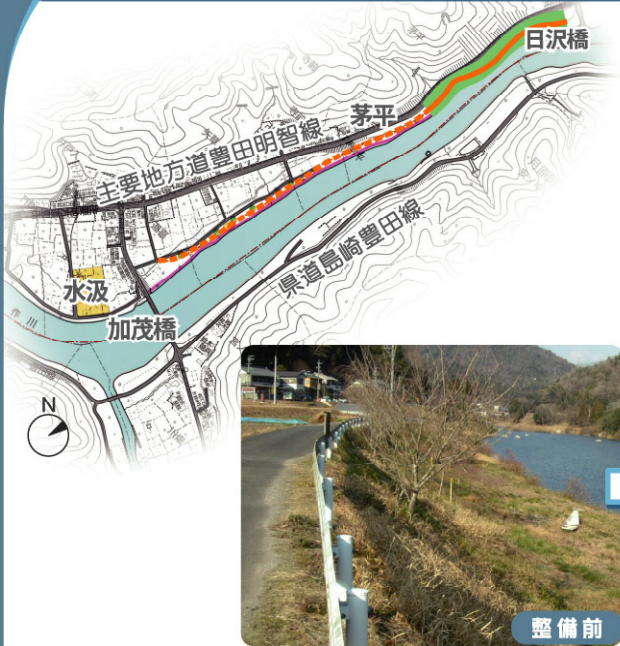


昨年度、住民の皆さんとの共働による整備を進めた下川口自治区・矢作自治区の工事が完成しました。管理団体となる水辺愛護会も設立され、河畔林の適正な維持管理活動が始まっています。

下川口自治区 縄文の里・水辺愛護会



矢作自治区 矢作自治区水辺愛護会



あなみ

矢作川河畔林整備事業

今年度も新たな河畔林整備への
取組みが始まっています。

第7号

平成21年 10月15日
豊田市 建設部 河川課

河畔林整備現場見学会を開催しました

河畔林の整備・維持管理が既に実践されている先進地の現場を見学し、今後の矢作川河畔林整備に向けた整備・維持管理等について学ぶため、7自治区の代表者の方々が参加し、河畔林現場見学会を開催しました。

- 日時** 平成21年7月6日（月）9:00～16:00
- 見学先** 長良川竹林広場公園（岐阜県岐阜市雄総）
岐阜薬科大学 薬草園（岐阜県岐阜市椿洞）
- 参加者** 大河原自治区・御蔵自治区・下川口自治区
・矢作自治区・笹戸自治区・小渡自治区
・浅野自治区（計7自治区）から代表者 計41名

1.長良川竹林広場公園（岐阜県岐阜市雄総）

平成8年岐阜市主催のボランティア研修会参加者が竹林整備ボランティア団体を立ち上げ、長良川右岸の竹林を竹林広場公園として市民に開放されるまでになりました。「できることを、できる時に、できる分だけおこなってください。」を会のモットーに男女、老若、大人子供、力の有無、繁忙等各々の資質や都合にあった活動を進める、ノルマのない純粋なボランティア団体が活動を行っています。



小中学校や県・市のイベントに利用する竹細工指導の材料採取、循環型社会づくりの一環として間伐材を構築した穴釜で焼成し竹炭及び竹酢液を製作しています。

当日は岐阜市河川課様、竹文化振興協会様、風と友の会様より竹林の維持管理や日頃の活動についてお話を頂きました。皆様、ありがとうございました！

2.岐阜薬科大学 薬草園（岐阜県岐阜市椿洞）

教育研究を目的に昭和46年に岐阜薬科大学附属施設として設置されました。教育研究施設ではあるが、健康志向と生涯学習の普及に伴い市民から強い要望があり、昭和60年から一般公開しています。また、ここでは生涯学習とともにボランティア活動が盛んに行われています。…薬草料理・薬草講座・薬草ウォッチング・栽培情報・ハーブ講座・アロマテラピーなど



薬草の生産のためや研究材料とするためにたくさんの植物を集め栽培しており、現在117科、約700種を保有しています。

来場者の指導や薬草の説明などに関しては、ガイドボランティア（薬草を学ぶ会）が行っています。ボランティアの皆様、ありがとうございました！

今年度は
小渡自治区です

平成21年度 矢作川河畔林整備事業

ワークショップが 開催されました

今年度は小渡自治区で計画を実現する事となりました。
平成19年度、住民の皆様と共に策定しました「矢作川河畔林整備行動計画」に基づき、小渡自治区では「小渡セイゴ愛護会」が発足するなど、積極的な河畔林整備が始まっています。

計2回のワークショップを開催し、将来に向けての全体の方向性（目標）や、良好な河畔林整備に向けての全体構想を確認し、必要となる施設や位置、整備の優先順位、役割分担について意見交換を行い、今年度の整備計画を策定しました。多数のご参加、ありがとうございました！

ここでは、皆様のご意見やワークショップの風景を一部ご紹介します。

ワークショップの概要

第1回 将来に向けての全体の方向性を決めよう！

とき：平成21年 7月9日 ところ：小渡公民館 参加人数：20名

セイゴの竹林の全体目標を設定し、そのための方策としてどのような施設が必要か机上の地図に書き込みながら、意見交換を行いました。

Aグループコンセプト

川沿いを眺められる散策道や、竹を切る事で生物の多様な森をつくり活用したい

Bグループコンセプト

見通しの良い竹林整備、県道の安全性を確保、竹工房・薬草園で活用

管理者・地権者との協議 整備計画案を作成

第1回の意見を基に、管理者・地権者の方々のご意見を踏まえ事務局で整備計画案をまとめました。



▲第1回討議の様子



▲第1回発表の様子

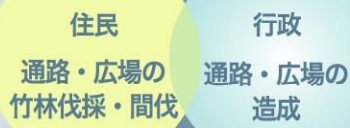


第2回 今年度の整備計画の詳細を決めよう！

とき：平成21年 9月18日 ところ：小渡公民館 参加人数：17名

第1回の意見を基に、管理者・地権者の方々のご意見を踏まえ事務局でまとめた整備計画案について、将来に向けての全体構想を確認しながら、今年度の整備範囲と役割分担について意見交換を行いました。

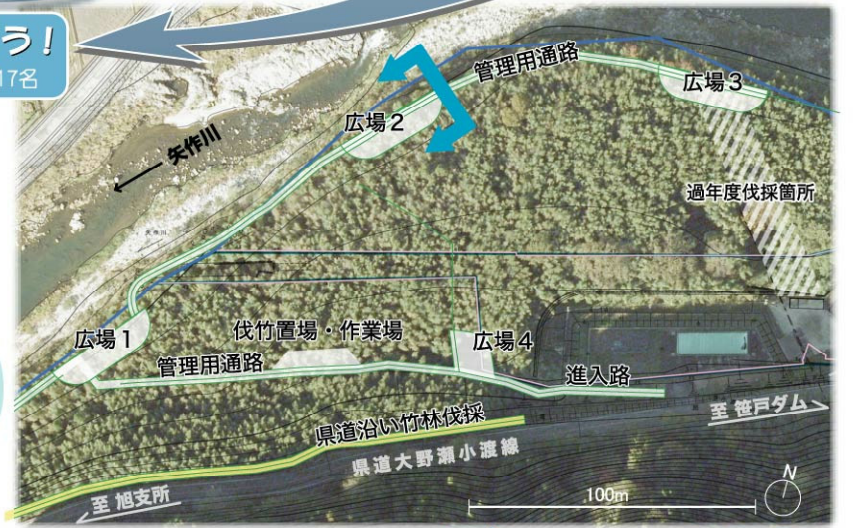
整備の役割分担



▲第2回討議の様子



▲第2回発表の様子



今年度整備範囲 ▲整備計画案

ワークショップでの皆様のご意見

第1回 平成21年 7月9日 参加20名

すぐに必要となる整備

川辺へ抜けて川沿いに 歩ける散策路

進入口から川へ向かって通路を整備し、川沿いに出られる様に。川に沿って通路を整備し、川を眺められる様にしたい。

河畔林管理に適した通路に

通路には管理用の車が止められるスペースが欲しい。特に間伐時は大きな竹を運搬するため、広い空間が必要。

川を見る場所（広場）

対岸や川原の風景が美しい箇所に見られる広場を整備したい。

竹を切り明るい県道に

県道沿いに繁茂した竹林を伐採し、明るく安全な環境を整備したい。

今後の展開

川沿いの散策路を延長

川沿いの散策路を日の出橋下流へ延長し、小渡やなまで周遊出来る様にしたい。

河畔林の小径

主となる通路から、人が歩ける幅の小径を広げていきたい。

河畔林の活用

小渡地域の風鈴やライトアップ、竹炭を作成する工房や薬草を活かした薬草園など、竹を始めとする豊富な資源を活用した空間をつくりたい。

生物の多様な森づくり

竹を間伐し、元々ある植生が育つような、生物の多様な森をつくりたい。公園化して広く一般の人が利用出来る様にしたい。竹を切るとホタルが増えるのは、たけのこ等採取する場、木の実が食べられる樹木、所々に櫓などの展望スペース

第2回 平成21年 9月18日 参加17名

全体構想について

進入部・通路の整備について

通路進入口の位置はOK。通路整備に当たっては、今後地権者との理解を図りながら進めていきたい。

広場の整備について

通路が長くなる部分については、竹を積んでおく場所（広場）を確保したい。

県道沿いの竹林整備について

通路入口に近い部分は傾斜面であり共同伐採で対応出来るのではないかと。他の部分は急斜面でありやってみないとわからない。

既整備部分について

既に自治区で整備した範囲は、現在の進入口を遮断した際の今後の利用が心配。

計画の規模について

今後は、「道路から川が見える」というイメージを捨てず、大胆に川が見えるようにしたい。

今年度整備範囲について

整備計画について

広場2までを目標に整備し、上流への川沿いの通路・広場は過年度伐採箇所の利用も考慮し今後検討していきたい。

整備の役割分担について

通路・広場部分の竹林伐採・間伐は自分たちで進められる。整備箇所は行政でお願いしたい。

伐採可能な範囲について

1回の共同伐採で進められる範囲は、大体 くらいで 人/日 くらいでは 伐採規模については実際やってみないとわからない。

お問い合わせ

矢作川河畔林整備事業についてのご意見、ご感想等お気軽にご連絡ください。

豊田市 建設部 河川課（計画担当：北村、花田）

でんわ：0565-34-6672

FAX：0565-33-2460



お知らせ

第3回ワークショップのご案内

次回、第3回ワークショップは現地にて開催します！実際に現地で、通路の位置や範囲を確認しながら、竹林の伐採を行います。皆様のご積極的なご参加、お待ちしております！

▶▶▶ 日程：10月17日（土）8:30 a.m.～ 場所：セイゴ竹林 ◀◀◀

ご不明な点等、ございましたら市河川課まで、ご相談ください。